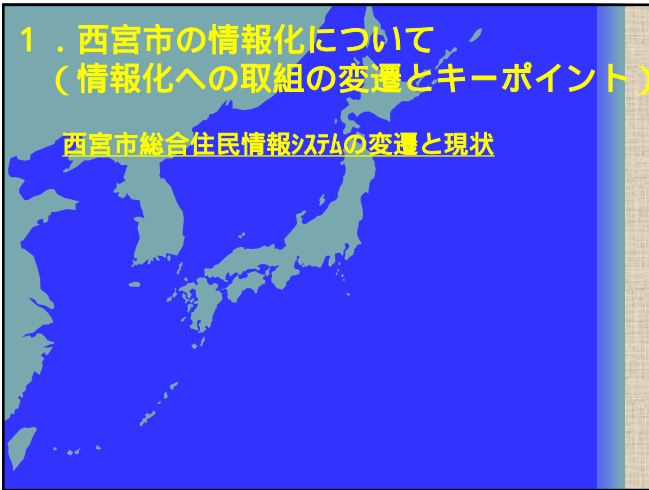


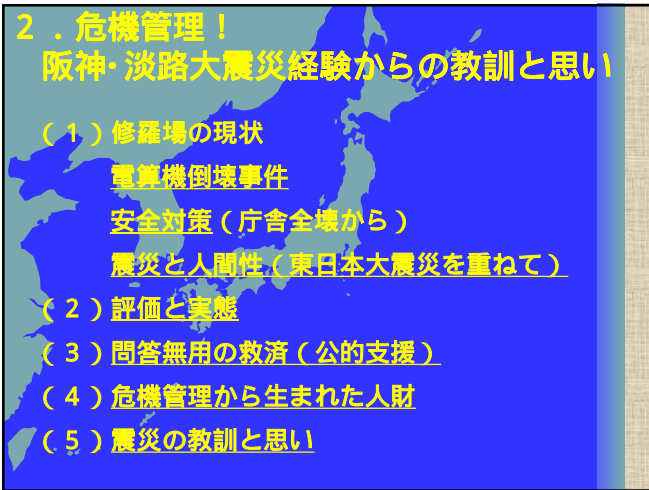
1. 西宮市の情報化について (情報化への取組の変遷とキーポイント)

西宮市総合住民情報システムの変遷と現状



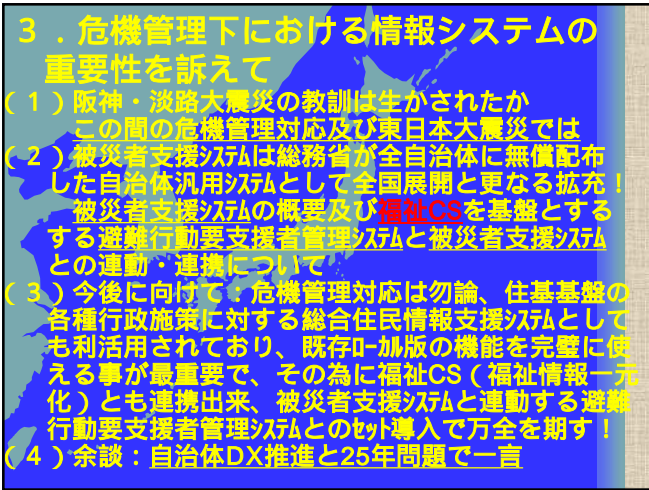
2. 危機管理！ 阪神・淡路大震災経験からの教訓と思い

- (1) 修羅場の現状
 - 電算機倒壊事件
 - 安全対策(庁舎全壊から)
 - 震災と人間性(東日本大震災を重ねて)
- (2) 評価と事態
- (3) 問答無用の救済(公的支援)
- (4) 危機管理から生まれた人材
- (5) 震災の教訓と思い



3. 危機管理下における情報システムの 重要性を訴えて

- (1) 阪神・淡路大震災の教訓は生かされたか
- (2) 被災者支援システムは総務省が全自治体に無償配布した自治体汎用システムとして全国展開と更なる拡充！被災者支援システムの概要及び福祉CSを基盤とする避難行動要支援者管理システムと被災者支援システムとの連動・連携について
- (3) 今後に向けて：危機管理対応は勿論、住基基盤の各種行政施策に対する総合住民情報支援システムとしても活用されており、既存R-加版の機能を完璧に使える事が最重要で、その為に福祉CS(福祉情報一元化)とも連携出来、被災者支援システムと連動する避難行動要支援者管理システムとのセット導入で万全を期す！
- (4) 余談：自治体DX推進と25年問題で一言



4. この間の危機管理対応の実態について

(1) 最新の事例を踏まえて

(2) 最近の実践事例から

熊本地震について、その経緯及び顛末

関東東北豪雨（常総市の支援要請と対応）での

鬼怒川氾濫の教訓より狭山市長からの緊急招請

・ 市長以下全庁職員向けの危機管理講演の実施

・ 被災者支援システムの職員自前のセットアップ 完遂

・ 先の台風9号での現場での災害対応の成果

(3) 命を守る危機管理(被災者支援業務)対応とは

おわりに

まとめ

震災直後の残骸となった
西宮中央商店街アーケード



平成7年1月17日午前5時46分

そして、想像を超える

～平成23年3月11日午後2時46分～

決して、忘れないで！備えあれば憂いなし！

ご清聴ありがとうございました！

J-LIS（地方公共団体情報システム機構）

被災者支援システム全国統一センターは

基礎自治体（被災地）への支援は

どんな事でもさせていただきます！

我々は民間よりも自治体システム開発力には

遥かに優れており、遠慮なく頼って下さい！

我々が民間の要請に応じて教示しているのです。

総合防災情報（危機管理）システムを民間やNPOに

相談するのは**最大の負担**であり、**全体負担**！

東日本大震災やNPO関連はもとより、

災害多発の昨今、あらゆる事象を我々は経験済！

よって、どんな事でも対応可能！（勿論、全て無償！）

問合せ先 ☎ ; 0798 - 32 - 8866

yoshida@nishi.or.jp
